

2010年10月吉日  
株式会社クロスオーシャンメディア  
アビックス株式会社

## 『東京 media』における視認者分析サービスを利用した 新しいデジタルサイネージコンテンツの実証実験を実施

株式会社クロスオーシャンメディア（代表取締役社長：市原義文／本社：東京都渋谷区／以下、XOM）とアビックス株式会社（代表取締役社長 兼 CEO：熊崎友久／本社：神奈川県横浜市／以下、アビックス）では、XOMが運営しているデジタルサイネージ『東京 media』において、アビックスが提供しているデジタルサイネージ向け視認者分析サービス『リアルなう<sup>※1</sup>』（以下、『リアルなう』）を利用した、新しいデジタルサイネージコンテンツの実証実験を行います。

『東京 media』は、ローソンの店頭外側に46インチディスプレイ2台と店頭の方だけに音声聞こえる指向性の高いスピーカーを設置し、広告やキャンペーン情報をはじめ、アンケートや占い、その他ワクワクするような様々なコンテンツを配信するメディアです。2010年5月よりサービスを開始し、現在までに都内309店舗（400面）に設置されています。（2010年10月15日現在）

今回、実証実験を行うデジタルサイネージコンテンツでは、『リアルなう』を利用し

- ① デジタルサイネージ視聴者の属性（性別・年代）に応じた放映コンテンツの振り分け
- ② デジタルサイネージ視聴者からのアクションによる、リアルタイム反応型コンテンツの放映が可能となります。

これにより、広告主様の求めるターゲットを絞り込んだアプローチが可能になるとともに、従来の広告メディアでは実現し得なかったインタラクティブな双方向メディアとして新たな広告手法の可能性が広がることとなります。

XOMでは、今後もデジタルサイネージメディアの発展・拡大に取り組み、より多くのお客様への価値のある情報発信を行うとともに、より広告主様のニーズに応える広告媒体事業を進めてまいります。

※1 「リアルなう」は、店舗側においたセットトップボックスと映像センサーにより、歩行者の通行人数、デジタルサイネージを見た人の数とその属性をパラメータ化し、ネット経由でクライアントに分析情報を提供するサービスです。

-----本件に関する報道機関からのお問い合わせ先-----

株式会社クロスオーシャンメディア 編成本部 三浦・日谷  
電話： 03-6416-3195 e-mail: [info@xom.co.jp](mailto:info@xom.co.jp)

アビックス株式会社 045-670-7711  
営業本部 立石 恵太  
電話： 045-670-7712 e-mail: [tateishi@avix.co.jp](mailto:tateishi@avix.co.jp)  
管理本部 桐原 威憲  
電話： 045-670-7720 e-mail: [kirihara@avix.co.jp](mailto:kirihara@avix.co.jp)

## 【実験の概要】

### 1. 実験期間

2010年10月26日（火）～2010年11月16日（火）

期間中の毎日19:00～25:00の間、実験用コンテンツの放映を行います。  
上記時間帯以外については、通常の広告コンテンツ等を放映します。

### 2. 実験場所

ローソン渋谷三丁目店／ローソン田町駅三田口店

上記店舗以外の東京 media については、通常の広告コンテンツ等を放映します。

### 3. 実験方法

- <Step 1> 視認者分析機能により、デジタルサイネージ視聴者の性別・年代を把握します。
- <Step 2> ターゲットとして設定した性別・年代のデジタルサイネージ視聴者に、指定したコンテンツを放映します。
- <Step 3> このコンテンツは、視聴者に対し、サイネージ画面の出演者から話しかける内容となっており、サイネージ画面に表示した指定の電話番号へ電話をかけるように呼びかけます。
- <Step 4> 呼びかけに応じ、電話をかけると、サイネージ画面内の出演者<sup>※2</sup>の携帯電話が着信（鳴動）し、応答します。（※疑似的に、サイネージ画面内の出演者と対話しているような状態となります。）

※2 実験用放映コンテンツの出演者は、以下の3名となります。

松島 瑠美（まつしま るみ）	1986年生まれ、千葉県出身。	ヴァーテックス所属。
香川 美紀（かがわ みき）	1987年生まれ、神奈川県出身。	オスカープロモーション所属。
山本 奈美（やまもと なみ）	1988年生まれ、山口県出身。	ヒラタオフィス所属。



（松島 瑠美）



（香川 美紀）



（山本 奈美）

### 4. 協力企業

**株式会社東芝**（実験用放映コンテンツの企画・制作）

**富士通東芝モバイルコミュニケーションズ株式会社**（実験用携帯電話<sup>※3</sup>の提供）

スケダチ 高広伯彦事務所（全体企画）

**株式会社 ants**（システム設計・構築）

**株式会社ネイキッド**（映像・画像制作）

※3 実験で使用する携帯電話は、au 携帯電話 T005（製造：富士通東芝モバイルコミュニケーションズ株式会社／10月下旬以降発売予定）となります。

※記載されている会社名、商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

※報道発表資料に記載された情報は、発表日現在のものです。仕様、サービス内容、お問い合わせ先などの内容は予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。